

近松淨瑠璃集中卷索引

(主として固有名詞、諺、俚謡、特殊の語句等を探り、發音に従つて五十音訓に排列す)





## ウ

- ういらう  
○上村吉彌  
○浮世小路  
○浮世又平重起  
○右近の馬場  
○牛若丸  
○丑天神  
○うさん  
○うたひ講  
○雅樂の介

三八ノ九	三三ノ五	三三ノ一	三八ノ九
四〇ノ五	四〇ノ五	四〇ノ五	四〇ノ五
四六ノ二	四六ノ二	四六ノ二	四六ノ二
九二ノ一	四三ノ一	四三ノ一	四三ノ一
西七ノ三	西七ノ三	西七ノ三	西七ノ三
西五ノ七	西五ノ七	西五ノ七	西五ノ七
西九ノ一	西九ノ一	西九ノ一	西九ノ一
西八ノ一	西八ノ一	西八ノ一	西八ノ一
西六ノ一	西六ノ一	西六ノ一	西六ノ一
西四ノ一	西四ノ一	西四ノ一	西四ノ一
西二ノ一	西二ノ一	西二ノ一	西二ノ一
西一ノ一	西一ノ一	西一ノ一	西一ノ一

- うちあける  
○打がひ  
○内平の町、太神宮  
○うてす  
○うない松  
○采女  
○姥が餅  
○馬さし  
○馬廻り  
○馬取  
○馬屋を得たる  
○梅川  
○梅田  
○梅田橋  
○同  
○梅の暦の根本大經師(以  
春參照)  
○裏判  
○浮氣鴉  
○上荷  
○穢多(大和のお衆)  
○枝(松の)づくし  
○越後屋  
○越前布越前縞  
○越前の法眼  
○江戸節  
○みづ  
○江戸爲替  
○同

## エ、エ

- 梅の暦の根本大經師(以  
春參照)  
○裏判  
○浮氣鴉  
○上荷  
○穢多(大和のお衆)  
○枝(松の)づくし  
○越後屋  
○越前布越前縞  
○越前の法眼  
○江戸節  
○みづ  
○江戸爲替  
○同

四三八ノ一四	四〇ノ七	八三ノ八	八六ノ八
四三九ノ一四	四三九ノ一四	四三九ノ一四	四三九ノ一四
五ノ五	五ノ五	五ノ五	五ノ五
四七ノ三	四七ノ三	四七ノ三	四七ノ三
二ノ二	二ノ二	二ノ二	二ノ二
毛ノ一	毛ノ一	毛ノ一	毛ノ一
七ノ一	七ノ一	七ノ一	七ノ一
六ノ一	六ノ一	六ノ一	六ノ一
四元ノ三	四元ノ三	四元ノ三	四元ノ三
四三七ノ六	四三七ノ六	四三七ノ六	四三七ノ六
四三九ノ二	四三九ノ二	四三九ノ二	四三九ノ二
四三七ノ九	四三七ノ九	四三七ノ九	四三七ノ九
四三九ノ二	四三九ノ二	四三九ノ二	四三九ノ二
四三七ノ九	四三七ノ九	四三七ノ九	四三七ノ九
四三九ノ二	四三九ノ二	四三九ノ二	四三九ノ二
三二ノ一	三二ノ一	三二ノ一	三二ノ一

○ゑにしなきりくんな

○恵比壽の森

○ゑぼし子

○ゑん正、すけさだ

○鹽治判官高貞

○衣紋が馬場

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○大鑓の犬

○扇屋了空

○扇屋

○大ぐさり

○同

四七三  
三四七  
五六六

○大ぐれなれ  
○大坂三郷

○大上萬小上萬

○大高  
○大津繪

○大星由良之介  
○大津酒

○おかた

○岡崎村  
○岡崎女郎しゆ

○岡平

○岡崎文吾

○近江屋

○大森彦七盛長

○岡崎

○岡崎

○岡崎

○岡崎

○岡崎

○岡崎

○岡崎

○岡崎

○岡崎

三五三  
三三五  
二四五

○岡崎村  
○岡崎

○おかた

○岡崎

二五二  
二七四  
一四四

一

二

三

四

五

六

七

八

九

一〇

一

二

三

四

五

六

七

八

九

三五三  
三三五  
二四五

○岡崎村  
○岡崎

○おかた

○岡崎

四七三  
三四七  
五六六

○大ぐれなれ  
○大坂三郷

○大上萬小上萬

○大高  
○大津繪

○大星由良之介  
○大津酒

○おかた

○岡崎村  
○岡崎女郎しゆ

○岡平

○岡崎

○ゑにしなきりくんな

○恵比壽の森

○ゑぼし子

○ゑん正、すけさだ

○鹽治判官高貞

○衣紋が馬場

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○大鑓の犬

○扇屋了空

○扇屋

○大ぐさり

○同

四七三  
三四七  
五六六

○大ぐれなれ  
○大坂三郷

○大上萬小上萬

○大高  
○大津繪

○大星由良之介  
○大津酒

○おかた

○岡崎村  
○岡崎女郎しゆ

○岡平

○岡崎

○ゑにしなきりくんな

○恵比壽の森

○ゑぼし子

○ゑん正、すけさだ

○鹽治判官高貞

○衣紋が馬場

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○大鑓の犬

○扇屋了空

○扇屋

○大ぐさり

○同

四七三  
三四七  
五六六

○大ぐれなれ  
○大坂三郷

○大上萬小上萬

○大高  
○大津繪

○大星由良之介  
○大津酒

○おかた

○岡崎村  
○岡崎女郎しゆ

○岡平

○岡崎

○ゑにしなきりくんな

○恵比壽の森

○ゑぼし子

○ゑん正、すけさだ

○鹽治判官高貞

○衣紋が馬場

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○お梅

○おうへ

○大鑓の犬

○扇屋了空

○扇屋

○大ぐさり

○同

四七三  
三四七  
五六六

○大ぐれなれ  
○大坂三郷

○大上萬小上萬

○大高  
○大津繪

○大星由良之介  
○大津酒

○おかた

○岡崎村  
○岡崎女郎しゆ

○岡平

○岡崎

○翁の面　○おきめ　○奥小姓　○お國腹　○御藏屋敷　○小栗右門  
○同　○おごけ　○おこげの掛子　○おこと　○おごけ　○小栗軍兵衛  
○同　○おさへ　○御さき祓

○おさし  
○おさん  
○お讀説  
○お仕著  
○押付  
○押著板  
○お島  
○おじやれ  
○おじ  
○お十二銅  
○おしよばからげ  
○おぞい  
○おそめ久松

○お種	○をだれ
○御乳の人	同
○お茶所の冥加鏡	○お茶のこ
○おつかない	○おつかない
○おつよら馬	○おつよら馬
○おつま	○おつま
○おつや	○おつや
○おてき	○おてき
○お寺小姓	同
○お伽小姓	○おつま
○お伽船	○おつや
○男傾城	○おてき
○男達	○お寺小姓
○音無河	○お伽船
○姫君	○男傾城

○おとまし

同

四

音羽二郎三

○お仲居

四

同

同

四

四

四

○おの様

四

おのれやれ

同

おはづ

中卷索引

オ、チ、カ、クワ

一九) 九  
二四) 七  
三五) 三  
三九) 三  
三三) 三  
三六) 三  
四四) 二  
四八) 四  
五〇) 五  
五三) 六  
五九) 五  
六〇) 六  
六三) 六  
六六) 六  
六九) 六  
七一) 六  
七四) 六  
七七) 六  
八一) 六  
八四) 六  
八七) 六  
九一) 六  
九四) 六  
九七) 六  
一〇一) 三  
一〇二) 一  
一〇三) 一  
一〇六) 一  
一〇九) 一  
一一二) 一  
一一三) 一

○おはらじ	○お祓ひの練衆	○お引	○おびん	○お藤	○お山	○親方
同	同	同	同	同	同	同
○思ひ草	○恩地の左近	○重手代	○思ひさし	○をなんでもない	○お山	○親方
同	同	同	同	同	同	同

一六〇  
三九三、二一四  
三九九、一四  
一二二、一三  
二七四、七  
四八三、二  
一四九、四  
一五二、五  
一七〇、六  
二九一、八  
三八六、二  
四五六、七  
三三三、七  
四八四、三  
三三一、二  
四四八、五  
二七二、四  
三四八、六  
二四六、四  
四五九、一  
二三九、三

四七八 西七〇 三九 三七 八九 二八 八一  
西六八 三三 一七 五〇 三六 二九 一〇  
三三 一七 五〇 三六 二九 一〇 一八

- |         |          |
|---------|----------|
| ○植根草    | ○癩病〔かキアニ |
| ○角介     | ○角藏      |
| ○掛鰯     | ○かけ作り    |
| ○駕籠の長介  | ○かさをかけて  |
| ○かさから出る | ○重ね井筒    |
| ○花山の法皇  | ○笠や      |
| ○笠屋與兵衛  | ○鹿島の事ふれ  |
| ○家質     | ○花車      |
| ○柏木の鞆   | ○嘉十郎     |
| 同       | 同        |



○川口の八景  
○川崎の大權  
○爲替銀  
○河瀨忠太夫  
○瓦町橋

三

○氣がつきだ  
○さや

○川口の八景  
○川崎の大櫻現  
○爲替銀  
○河瀨忠太夫  
○瓦町橋

二九一) 七  
一七七) 九  
四一六) 四  
九九) 八  
三三) 四  
五〇) 三  
三四) 五  
三五) 一〇  
三七) 六  
三二) 七  
三三) 一  
三六) 一四  
三四) 六  
三八) 六  
三〇〇) 二二  
四〇一) 一〇  
四〇六) 五  
四一) 六  
五〇九) 九

○きしむ	同	同	同	同
○きじやく				
○書鵠天				
○きそ始				
○北野				
○北野の藍ばたけ				
○北畠の准后親房				
○北向の八幡宮				
○吉次信高	同			
○木賃	同			
○木賃宿				
○吉書				
○吉祥院				
○きどく頭巾				
○木の空				

二九四) 三  
四〇一) 八  
六六) 九  
四八) 五  
五六) 一  
一六) 一  
五〇〇) 三  
三五五) 五  
三三三) 七  
二七七) 九  
二九六) 七  
三三九) 五  
三三三) 三  
四四二) 一



久米之介

久米之介 同 同 同 同 同 同  
○くもにしるが出来る  
○悔み草  
○くら屋  
○藏屋敷  
○車長持  
○車に螳螂  
○廊雀  
○黒格子の辻  
○黒鐵婆々  
○黒書院  
○九郎助  
○黒谷  
○黒谷の菩提所

六

○蹴上の水	○傾國
○結句「ケク」	○下心の悪い
○げしう	○解狀
○けな者	○けなりかる
○毛彫	○毛馬屋の七兵衛
○假名實名	○源右衛門
○拳	○源左衛門
同	同
○げんこ取	
○源右衛門	
○源左衛門	

四五六八	一三	四五八	一〇	一四六	一一
三七一	一〇	一〇	一〇	二九四	二
一〇〇	七	一〇〇	三	五五六	一
一四三	一	一四三	三	三五	一
三九〇	六	三九〇	三	五五	一
二九七	一	二九七	二	五五	一
二五〇	一〇	二五〇	二	五五	一
六八〇	二三	六八〇	二	五五	一
四六二	一	四六二	一	五五	一
四二五	四	四二五	一	五五	一
五一	一	五一	一	五五	一
一五六	一	一五六	一	五五	一
一五八	一	一五八	一	五五	一
一七四	八	一七四	一	五五	一
二四七	三	二四七	一	五五	一
五三三	二	五三三	一	五五	一

۲

○ 源十郎 同 同 同  
○ 儉飴 源藏 同 同  
○ けんれじ 同 同  
○ 源之介 同 同  
○ 堅牢地神 同 同  
○ ける程に 同 同  
○ けわしい 同 同  
○ 戀塚 五音 聲をなまつて

五四二) 四  
三〇一) 八  
三〇七) 八  
三〇八) 一四  
四八三) 六  
七〇) 二  
三三八) 八  
三九六) 七  
四〇三) 三  
四〇五) 四  
四〇七) 一  
四一〇) 一四  
二一七) 八  
六五) 一三  
三〇八) 二  
六四) 一四



樹の蔭の合宿も他生	三八〇二三
劫の縁	三五〇一四
一樹の蔭も他生の縁	三八〇二三
一日養育の御恩は、蘇	三九〇二
迷廬の山より猶高し	三九〇二
一さい起れば二さい起	三九〇二
る	三九〇二
同	三五〇一四
一升入袋は梅川でも一	三五〇一四
升	三五〇一四
一度は思案二度は不思	三六〇一〇
案	三六〇一〇
往を尋ねて來れるをし	三四〇六
る	三四〇六
苛つは戀の癖	三四〇六
鰯で精進をおちよふと	三四〇六
した	三四〇六
魚と水との如くなり	五六〇三
浮木に逢る盲龜	五六〇三
打る杖も床しい	五〇〇五
氏より言が恥かしい	五〇〇五
	三七〇一
	三七〇一

氏より育ちぞ	三三ノ
海より山へりも齧つた	三〇五
る御高恩	三
馬の耳	六八ノ
馬は馬連牛は牛連	一〇
瓜を二ツに	三七
縁は異なる物	三三ノ
岡目八目	四
おとがひで蠅おやろぞ	三五ノ
や	三
男は當つてくだけいじ	三六ノ
や	七
鬼に鐵鎌	九
鬼に鐵棒	一
同	一
鬼の首取た様に	三四
尾鰭を付て	六
尾鰭が付	三九ノ
親の情は子の爲に薬	三七ノ
加賀の牛勞毛牛勞	四〇ノ
肩の能いもの仕合	五九ノ
	二六ノ
	四
	二九ノ
	一
	二三ノ
	二九ノ
	一
	二九ノ
	一

壁に耳 神は見通し	四二七ノ一
勸學院の雀	二二九ノ一
唐へ投金	四五二ノ一
借る時の地藏菩薩	五八〇ノ三
木で鼻もぎどう者	四三九ノ六
霧は袋と	四七〇ノ二
薬の炎は身にあつく毒	三七〇ノ六
な酒は甘い	一八〇ノ四
車は海へ舟は山	三〇九ノ六
毛を吹いて疵を求むる	七八〇ノ三
戀路の闇の一寸先	二八〇ノ三
戀はくせもの	三三〇ノ一
後悔先へたきがれ	三九九ノ三
子を一人育つるに生る	二八一ノ五
瀬か死ぬる瀬が七度	二八二ノ七
ある	二八三ノ九
御所柿と瀬柿とは皮む	二八四ノ一
かいでも知れる	二八五ノ九
粉糠三合有ならば入聾	二八六ノ一
すな	二八七ノ九

鹿を逐ふ獵師は山を見	五〇ノ三
身代薬の女房	三六二ノ三
親は泣寄り	三三三ノ一〇
出家侍犬畜生	四〇三ノ一
酔のこんにやくの	四七九ノ一〇
同	四七九ノ一〇
急ては粗相も有る物	二六ノ三
世帯佛法はら念佛口に	三九ノ二
喰ふが一大事	四七ノ一
背中に腹	三七ノ三
梅檀は嬌よりかんばし	三八ノ四
船頭馬方お乳の人	四九ノ五
育が恥しい	三六ノ二
候べこそろ	四九ノ七
大功は細瑾を願す	五九ノ二
短氣は損氣	西〇ノ八
	四八ノ四

田も遺ふ畠も遺ふ	三九七ノ二
地獄で地藏に逢ふ	三四〇ノ一
提燈に釣鐘	三〇九ノ四
提燈よ釣鐘よ	一六〇ノ二
手があけば口があく	三三三ノ一〇
道具と女房は有合	三四〇ノ六
鳶が産だる	三五〇ノ五
鳥は古巣を慕ひ北國の	三五〇ノ五
馬は北風に嘶く	三四〇ノ六
無い程は無いも金、有	三五〇ノ五
段には有物	三五〇ノ五
梨も礫も	三四〇ノ二
鍋蓋と女房は無ふて叶	三四〇ノ二
はぬ	三四〇ノ二
憎い者は生けて見よ	三四〇ノ二
にたりやにたり	三四〇ノ二
似たりや似たり燕子花	三四〇ノ二
拔ぬ太刀の高名	三四〇ノ二
盜人におひ	三四〇ノ二
盗みする子は憎からで	三四〇ノ二
繩かくる人が恨めし	三四〇ノ二

盜人を捕へて見れば我	四二ノ一〇
子なり	七四ノ七
猫に鱈魚	三七ノ一〇
針を棒	二六ノ四
腹は假物	五九ノ三
腹共談合	一八ノ九
一つ穴のいたづら狐	二三ノ一
人は零落の心ざし	三七ノニ
人は筋目が恥かしい	四三ノ〇
貧女が一錢	五六ノ三
貧乏隙なし	二五ノ二
貧は諸道の妨	四六ノ二
百丈の木に登つて一丈	六六ノ三
の枝より落つる	四六ノ四
百里來た道は百里歸る	四三ノ五
佛の顔も三度	四三ノ一
盆も正月も一時に來ま	二三ノ二
した	一三ノ一
誠ある傾城と迦陵頻の	一三ノ一
雄鳥は繪に書たも見	一三ノ一

た者ない  
まじなひは理外  
待身より待たるゝ身  
丸い苧桶に角な蓋  
水の流と身の行衛  
水も漏さぬ  
物はいふて見よふ物  
焼鳥に經緒用心  
山の芋を饅  
山の枯木の一木立  
破れ車でわが悪い  
○こなし  
○吳服づくし  
○古法眼  
○翻れ口  
○後伏見院  
○駒引錢  
○小まん

○ 権兵衛  
○ 小めらう  
○ 子持筋  
○ 昆野の池  
○ 小よし  
○ 維盛  
○ 小童〔コワツメ〕  
○ 雜賀屋の花之丞  
○ 雜賀屋の興治右衛門  
○ 在郷馬

○西所川原	○彩色く
○采配	○サイモン
○宰領	○さが
○同	○同
○相模入通	○相模入通
○先いき	○先いき
○鷺坂左内	○鷺坂左内
○鷺に澤瀉	○鷺に澤瀉
○作右衛門	○作右衛門
○櫻井の宿	○櫻井の宿
○櫻の丸	○櫻の丸
○左近	○左近
○櫻山庄左衛門	○櫻山庄左衛門
○小衣	○さういから
○ざんざ	○ざんざ









清十郎

四三

○瀬尾の太郎兼安

四五六

## 同 同 同 同 同 同

セイシ

成敗

雪秋  
箇季便

雪  
月  
ノ  
一

同人集

同

○闕の地藏

内ニ廻す

۲۴

○勢多の久三

千右

初羽

七  
不

三〇四ノ八  
二九八ノ一〇  
二八三ノ一四  
二七五ノ一一  
二六八ノ一〇  
二五〇ノ一三  
二四八ノ一〇  
二三五ノ一五  
二二三ノ一四  
二一三ノ一四  
二〇八ノ一〇  
一九七ノ一六  
一八五ノ一五  
一七五ノ一五  
一六五ノ一九  
一五五ノ一九  
一四五ノ一九  
一三五ノ一九  
一二五ノ一九  
一一五ノ一九  
一〇九ノ一四  
一〇八ノ一三  
一〇八ノ一三  
九七ノ一八  
九二ノ一三  
六八ノ一六

○瀨枕 ○千貫枝 ○善哉餅 ○千壽の前 ○潛上 ○善次郎 ○千壽同 ○添狀 ○惣嫁 ○象眼鐸 ○そう者役 ○僧正坊

五九〇 八  
三九〇 六  
三八九 三  
三四〇 三  
二一〇 一  
一〇〇 一

○そつの助 同 ○袖島源治 ○そでにして  
○曾根崎 同 ○袖になし  
○曾根崎天神 ○曾根崎の宮  
○曾根崎天神 ○曾根崎の宮  
○空冴 ○そめ飯  
○反打 ○剃下  
○大頭の舞 ○たいこ  
○だいそれた ○大念佛派  
○太平記講尺

五五六	三三一	一六八	二一七	高一七	上一七
一九〇	一九〇	一九〇	一九〇	一九〇	一九〇
一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二
一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六
六二二	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二
八一〇	八一〇	八一〇	八一〇	八一〇	八一〇
一七八	一七八	一七八	一七八	一七八	一七八
三八〇	三八〇	三八〇	三八〇	三八〇	三八〇
五四六	五四六	五四六	五四六	五四六	五四六
四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
三八〇	三八〇	三八〇	三八〇	三八〇	三八〇
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
四九	四九	四九	四九	四九	四九
E113	E113	E113	E113	E113	E113
HEO-122	HEO-122	HEO-122	HEO-122	HEO-122	HEO-122
111-10	111-10	111-10	111-10	111-10	111-10
113H	113H	113H	113H	113H	113H

中巻索引 セソタ

五七七





テ

○手ぶり	○手はん	○手の内	○出入	○出女	○わるい	○のぼう	○入らす	○右衛門	○次兵衛	○敦賀の濱	○弦掛の藤	○弦走	○貞法	同	同	同	同	同	テ
------	------	------	-----	-----	------	------	------	------	------	-------	-------	-----	-----	---	---	---	---	---	---

一七

○出見世	○點
○天狗	○天狗風
○天狗賴母子	○天狗の法
○てんがう	○てんがうかはく
同	○てんがうな
○天神	○傳五平
同	○傳三郎
○天神の森	○でんど
同	○傳三
○でんど	○てんぽのかば

四三  
一一

○天満川 同

○天満屋お初

○天満の社

○天満屋

○天満屋お初

○天満屋の亭主

○天目ざや

○照降雨

○照手の姫

ト

○問屋 同

○洞院左衛門督心

○唐團扇

○東岸和尚

○道具づくり(助給の書置)

○通し

○唐桑の櫛匣

○東寺

○道順夫婦

ト



とほんとして

○留女

○とめぶろ

○とんと

○同

○どんと

○知盛

○同

○虎(元信の靈筆)

○鳥屋なくぐる

○虎が涙

○鳥居丘

○鳥威し

○鳥首

○鳥毛の鐘

○中ゐの萬

○ながしの枝

○中戸

○中戸

## ナ

二三ノ八

三四ノ五

四八三ノ六

五三三ノ七

四八三ノ八

五三三ノ九

四三三ノ九

五三三ノ九

○長年

同

○長濱六郎左衛門

○長持

○長柄

○半井の御典薬

○半井の十郎經時

○生爪放して

○南壁ごろ

○何んじやし

○南め過

○なめたり

○無禮者(ナメモノ)

○奈良團扇

○奈良漬

○名越備前ノ守

○茄子の淺漬

○七ツ道具

○七所御物

○浪花藝者

四七ノ一

四五ノ二

四五ノ三

四五ノ四

四五ノ五

四五ノ六

四五ノ七

四五ノ八

四五ノ九

四五ノ一〇

四五ノ一一

四五ノ一二

四五ノ一二

四五ノ一二

四五ノ一二

四五ノ一二

四五ノ一二

四五ノ一二

四五ノ一二

四五ノ一二

五三七ノ四

五四ノ二

五四ノ五

○難波の次郎經遠

同

○生爪放して

○何んじやし

○南壁ごろ

○奈良漬

○奈良團扇

○奈良漬

五三七ノ四

五四ノ二

五四ノ五

五三七ノ四

五四ノ二

五四ノ五

五三七ノ四

五四ノ二

五四ノ五

五六ノ一

五六ノ二

五六ノ三

五六ノ四

五六ノ五

五六ノ六

五六ノ七

五三七ノ四

五四ノ二

五四ノ五



- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| ○ 箱枕                  | ○ 破軍がなおつた               |
| ○ 矢間の庄司               | ○ 剪刀の彌市                 |
| ○ 剪刀の彌市               | ○ ばし                    |
| ○ ばし                  | ○ はしかからふ                |
| ○ はしかからふ              | ○ はしょくのくら屋              |
| ○ はしょくのくら屋            | ○ 馬借                    |
| ○ 馬借                  | ○ ばしやれ                  |
| ○ ばしやれ                | ○ 走り飛脚                  |
| ○ 走り飛脚                | ○ はずは                   |
| ○ はずは                 | ○ 長谷部雲谷                 |
| ○ 長谷部雲谷               | ○ 長谷部の等々<br>○ 島山左京ノ大夫   |
| ○ 長谷部の等々<br>○ 島山左京ノ大夫 | 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 |



- 漱素見 濱の納屋 ○ 母子草 花人親王  
○ 半がい 番頭 ○ 半九郎 反魂香 半四郎  
○ 食出し鍔 早提灯 ○ 原郷右衛門 ○ はれやれ  
○ 針立の道庵 同

○ひつしやりほん  
 ○ひつしょなく  
 ○逼塞〔ヒツソク〕  
 ○引張風  
 ○一絞  
 ○ひぬかの八藏  
 ○樋の上の切荒布  
 ○日岡  
 ○日野絹  
 ○姫始  
 ○備後表  
 ○びんざくら  
 ○ひんぬき  
 ○びんび  
 ○ひんよゑい  
 ○比喩  
 嵐に雪の飛如  
 重れ簾笥の引出  
 重足らぬ如  
 磁石に針、盜

四五九、二  
八一ノ、八  
一四ノ、二  
二五三、一三  
三九ノ、七  
一四四、一四  
二六ノ、一三  
二五ノ、五  
三四五、一  
一四五、一〇  
三九ノ、四  
三二ノ、三  
三七ノ、二  
四一七、三  
二六七、四

○びらしやら	○ひよんな	○火ようじ	○弦なき弓に羽拔 鳴子を引にことならず	○高き山の頂にて一杯の 水をもとむるが如し
○平岡左近	○比翼煙管	○富士と一里塚	○筋燈ひて、風吹に置 乾上つた土器に燈心一	○争ふ如く
○びらくら	○ひよんな	○火ようじ	○筋燈ひて、風吹に置 乾上つた土器に燈心一	○争ふ如く
同 同 同 同	○ひよんな	○火ようじ	○筋燈ひて、風吹に置 乾上つた土器に燈心一	○争ふ如く
○平岡左近	○比翼煙管	○富士と一里塚	○筋燈ひて、風吹に置 乾上つた土器に燈心一	○争ふ如く

五一三	一〇	二〇八	二	三五	八二	四九	五
四八	一	二九九	三	二一	五	四九	二
四三	一	二七	一	二七	一	三六	一
一八九	一	一七	一	一七	一	三五	一
三五	一	一九	一	一九	一	一九	一
三九	一	一七	一	一七	一	一九	一
三六	一	一一	一	一一	一	一九	一
三九	一	一二	一	一二	一	一九	一
七八	一	二一	一	二一	一	二一	一
九	一	二九	一	二九	一	二九	一

巣立の鷺の若鳥と深山  
を出し荒熊が野邊に

争ふ如く

酔でさいて飲む様に

高き山の頂にて一杯の

水をもとむろが如し 三五、二

弦なき弓に羽拔

鳴子を引にことならず

乾上つた土器に燈心一

筋燈ひて、風吹に置

第一回 横な物

富士と一里塚

翼煙管

よんが

岡左近

一九六

五  
七  
四  
五

五  
七  
九







末期の道行  
元信の熊野圖

○水いらず

同

○三ツ鐵輪

○炊婦〔ミヅシ〕

○水間の里

三つ山

○水牢

四

水舟石

水間の里

〇三ツ目かぶり

○みな口鮓

○漢川

○美濃屋の作右衛門

三 后

○三原重太夫

○三原の相口

○みゆうの橋

◎

中卷索引

三  
△  
七

四九ノ九  
二二五ノ一三  
二一六ノ一二  
二一八ノ六  
六六ノ三  
五〇六ノ七  
五二三ノ一  
一七四ノ一四  
一九五ノ七

○虫づくし	○むして	○無常氣	○もたいに	○無得心	○背打
○めいよな	○めいよな	○無益しい	○紫帽子	○室の津	○宗盛
○女夫池	○女夫池	○紫帽子	○室の津	○室の津	○宗盛
○めかりを利す	○めかりを利す	○紫帽子	○室の津	○室の津	○宗盛
○目闌笠	○目闌笠	○室の津	○室の津	○室の津	○宗盛
○めんない千鳥	○めんない千鳥	○室の津	○室の津	○室の津	○宗盛

○日安あげる

## モ

○もがり

○藻鹽

○もじ肩

○同

○縫子の蚊屋

○もじやく

○持丸長者

○餅屋のお福

○もつさう

○もて扱ひ

○もどく

○求塚

○もと渡

○物頭

二六 六

○物ごし

○物主

○茂兵衛

○物日

○同

○同

○同

○同

○もみ園

○紋日

○もむない

○盛國

○師直

## ヤ

○やあゑい

四七 六

三九 六

三八 六

三七 六

三六 六

三五 六

三四 六

三四 六

三三 六

三二 六

三一 六

三〇 六

二九 六

二八 六

二七 六

二六 六

三三 二

三二 二

三一 二

三〇 二

二九 二

二八 二

二七 二

二六 二

二五 二

二四 二

二三 二

二二 二

二一 二

二〇 二

一九 二

一八 二

二九 六

二八 六

二七 六

二六 六

二五 六

二四 六

二三 六

二二 六

二一 六

二〇 六

一九 六

一八 六

一七 六

一六 六

一五 六

一四 六

二九 六

二八 六

二七 六

二六 六

二五 六

二四 六

二三 六

二二 六

二一 六

二〇 六

一九 六

一八 六

一七 六

一六 六

一五 六

一四 六

三三 二

三二 二

三一 二

三〇 二

二九 二

二八 二

二七 二

二六 二

二五 二

二四 二

二三 二

二二 二

二一 二

二〇 二

一九 二

一八 二

二九 六

二八 六

二七 六

二六 六

二五 六

二四 六

二三 六

二二 六

二一 六

二〇 六

一九 六

一八 六

一七 六

一六 六

一五 六

一四 六

五

四九五)	二
一七三)	八
三三二)	二
三三四)	一
一八三)	三
四〇八)	十

三

一六五ノ八	二五五ノ三
一六八ノ二	二六八ノ九
一九四ノ一	三三三ノ九
一九五ノ九	三三三ノ一
一九六ノ二	一六八ノ一
一九七ノ一	二三六ノ二
一九八ノ一	二三八ノ二
一九九ノ一	二四一ノ二
二〇〇ノ三	二四三ノ三
二〇一ノ五	二四六ノ五
二〇二ノ三	二五一ノ三
二〇三ノ一	二六一ノ一
二〇四ノ二	三三九ノ二
二〇五ノ二	三七三ノ二
二〇六ノ三	三七八ノ二
二〇七ノ二	四四五ノ八



口

○らうそく鞘

○ろくで

○六角左京ノ大夫賴賢殿

○六尺

同

○六番がしら  
○ろませ

リ

○若衆

同 同 同

○若菜

○脇詰

同

○わけ知り

同

四五ノ五

四五ノ二

三〇ノ九

九ノ二

三六ノ二

七ノ三

三三ノ三

三天ノ三

二七ノ二

四〇ノ一

一六〇

四二ノ一

二五ノ一

六九

二八ノ一

一七ノ八

二九

二八ノ一

○譯よし  
○わざくれ

○わせる

○わたがみ  
○和田五郎

○和田傳内  
○和田の新發意源秀

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

○綿帽子

同 同 同

○和中さん

○わらを焼れて

○わりない

同

○悪こうな



昭和五年八月十日 印刷

有朋堂文庫  
（非賣品）  
近松淨瑠璃集中巻

昭和五年八月十三日 發行

編輯者 塚本哲三

東京府下大久保町西大久保二百三十六番地

發行者兼  
印刷所  
三浦捷一

東京市神田區錦町一丁目十九番地

印刷所  
有朋堂印刷所

東京市神田區錦町三丁目九番地

發行所  
有朋堂書店

東京市神田區錦町一丁目十九番地

不許複製